

令和6年度
浜松市立犬居小学校

第3回 学校運営協議会



令和7年2月3日（月）13:55～

令和6年度 第3回 学校運営協議会

浜松市立犬居小学校

< 日程及び内容 >

1 授業参観（13：55～14：10）

- ・子供たちの学習の状況など

2 熟議（14：15～15：45） 多目的ルーム

- ・令和6年度学校評価について
- ・学校運営協議会の自己評価について
- ・令和7年度学校運営の基本方針について
- ・いじめ防止等のための基本的な方針について
- ・子供たちの様子について
- ・その他

3 報告・連絡

- ・夢育やらまいかCS加算分について
- ・学校支援CDより

4 今後の予定について

◇授業参観会	2／14（金）
◇6年生を送る会	3／4（火）
◇卒業式	3／17（月）
◇春休み	3／18（火）～4／6（水）
◇離任式	3／26（水）
◇入学式	4／8（火）
◇始業式	4／7（月）

- ・第1回学校運営協議会 4月 25日（金） 午後
授業参観
協議（組織作り、学校経営方針について）

*会議録を作成してホームページに掲載します。お名前が掲載される場合があります。御了承ください。

令和6年度 第2回 犬居小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月9日（水） 14時00分から15時50分まで
- 2 開催場所 浜松市立犬居小学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 渡辺 新五、山下 光之、酒井 まち子、山下 尚美、栗田 幸尚
- 4 欠席委員 中 隆弘
- 5 オブザーバー 佐々木 徹（春野支所）
- 6 学校支援CD 前田 浩子
- 7 学 校 堀田 洋一（校長）、中村 隆紀（教頭）、岡田 久世（教諭）、
堤 信久（教諭）、川坂 萌（教諭）、山崎 淳子（CS ディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 教頭 中村 隆紀
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、酒井委員から渡辺会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）授業の様子、子供たちの様子について
- （2）学校への支援「6年総合的な学習の時間 春野から世界へ」について
- （3）すみれの里大運動会について

13 会議記録

司会から、委員5人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業の様子、子供たちの様子について

委員からは、以下の発言があった。

○3年生から「プレゼン」ができていた。良い経験ができています。自分の考えが言えるようになる。低学年の生活科では、地域の祭りを題材にしていた。興味あることが題材になっていて良い。先生の子供たちへの投げかけ方が良い。（酒井委員）

○参観した授業は、子供たちが自分たちで考えていた。子供主体。子供が主役。教師はきっかけを作ってくれていた。タブレットを当たり前で使用していた。運動会も参観した。今年は我が子がいない初めての運動会だったが、いなくても、泣けた。組体操に1年生も参加。高学年にあこがれを持っている。高学年がよいお手本になっていた。（山下尚委員）

○発表するだけでなく聞いている子の態度が良かった。グループになってもすぐに意見が出し合っていた。（栗田委員）

○前回授業がなくて見られなかった1年生を参観した。1年生が落ち着いている。複式等で下級生が上級生を見る機会が多く、それがよいお手本になっているのだろう。小規模だからできることがある。（山下光委員）

令和6年度（後期）学校教育アンケート分析結果

浜松市立犬居小学校

「ゆめに向かって がんばる子」

この学校教育目標の達成をめざし、今年度の教育活動を進めています。活動を振り返り、次年度の教育活動に生かすために、学校がめざす子供の姿に沿って質問を作成し、児童・保護者・教員に対してアンケート調査を行いました。アンケート結果から分かる、本年度の犬居小の児童の様子と次年度に向けた考察をお伝えします。

なお、今回、児童・保護者・職員からの回答の「とてもそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が全て9割以上のものを太線枠で、8割未満があるものを破線枠で示してあります。

「やさしい子」

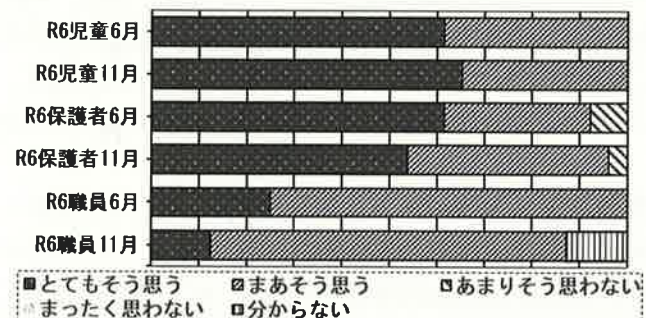
＜夢と希望をもって生活し、自他の良さに気づき、相手の立場になって考えた言動ができる子供＞



★★★★★ 「やさしい子」 アンケート結果 ★★★★★

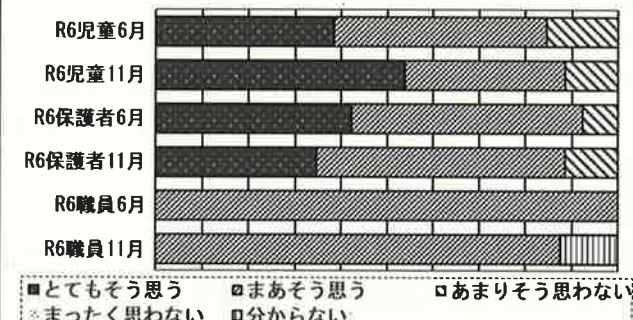
1 先生は自分のことをほめてくれる

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



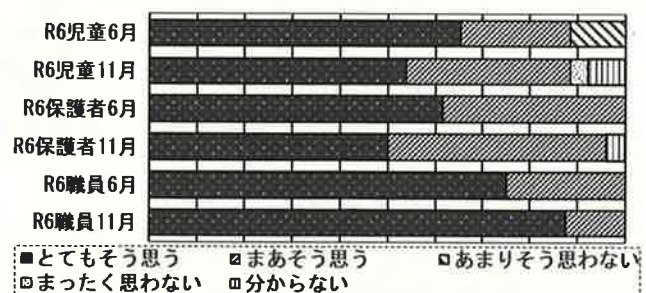
2 友達に自分の思っていることを伝えることができる

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



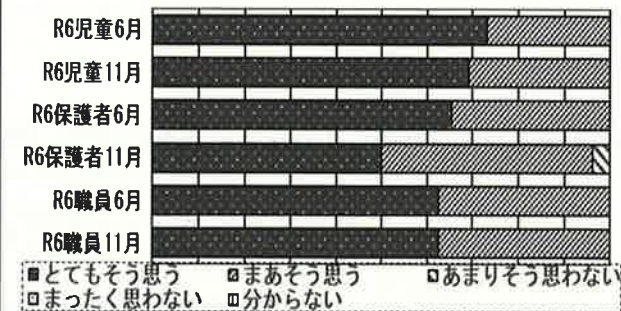
3 いじめについて話し合ったり、未然防止に努めたりしている

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



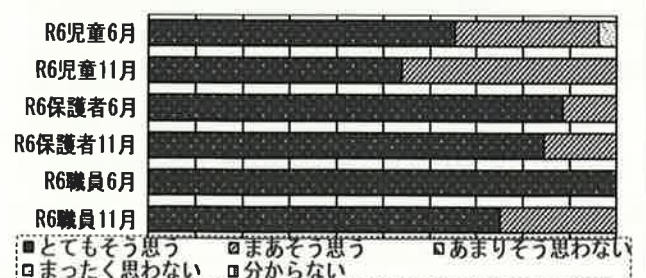
4 地域（春野・犬居）を大切に感じている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



5 自分にはよいところがある

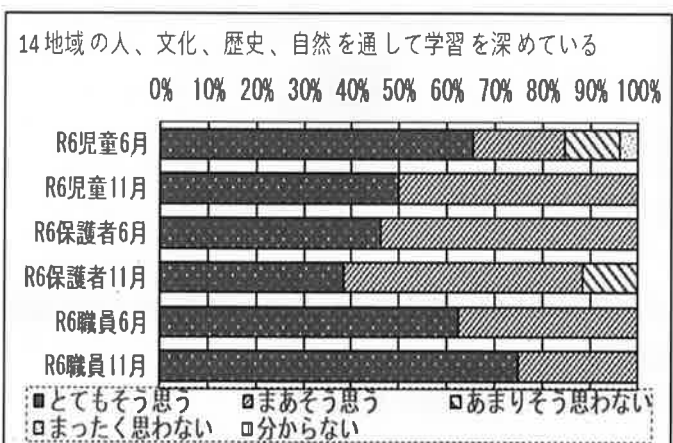
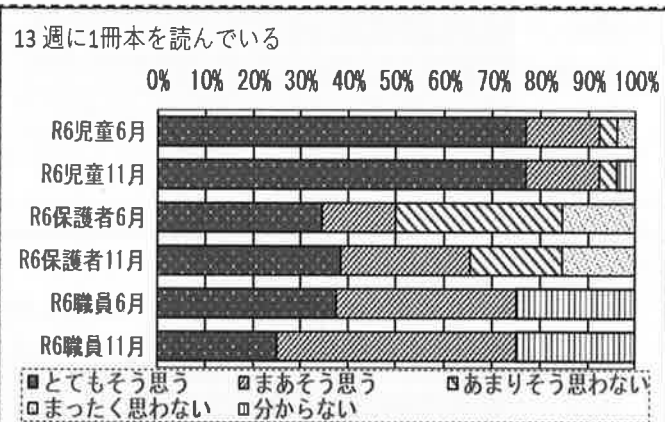
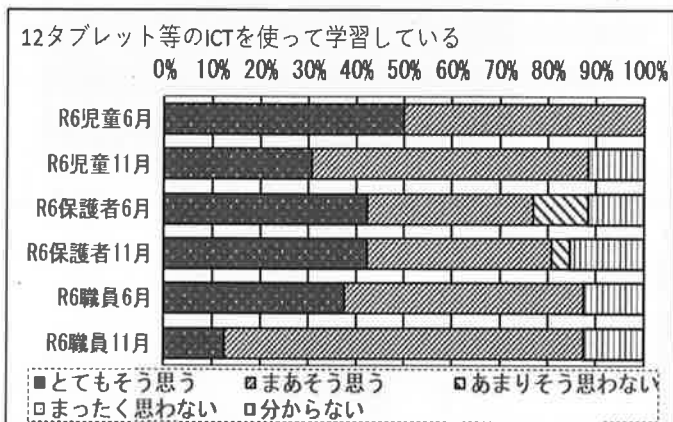
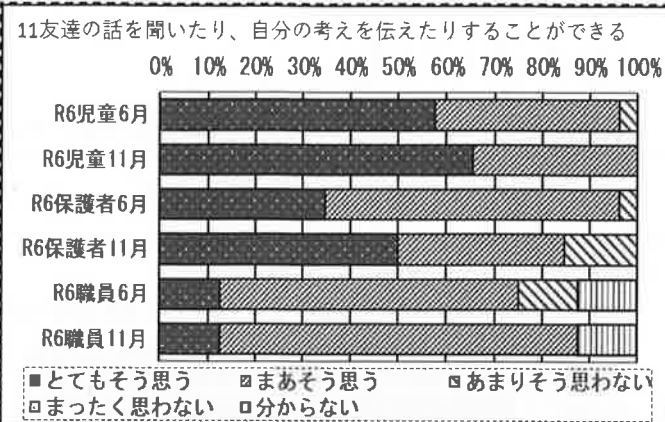
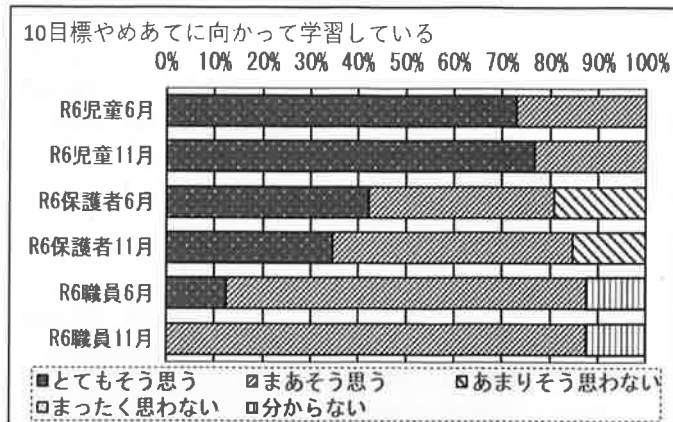
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



6 友達やクラス、学校の役に立つことをしている

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%





【アンケートより】

㊦ 設問8～14は、前期は80%未満の破線枠のものが多かったですが、改善されたものが多くありました。「8. 学習内容がよく分かる」「10. 目標やめあてに向かって学習している」については、肯定的な回答がやや上昇しました。

「11. 友達の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる」「14. 地域を通して学習を深めている」については、児童の回答は100%となっています。

㊧ 設問10～14については、児童と保護者との差が顕著な傾向は変わりません。「12 タブレット等のICTを使って学習している」については「わからない」の回答が目立ち、

「13. 本を読んでいる」については、保護者の肯定的な回答が増えましたが、未だ60%台となっています。

【考察】

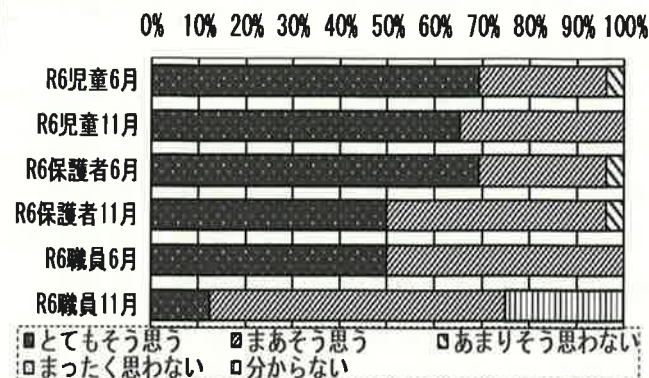
㊦ 学習に対して手応えを感じている児童の割合が、以前にも増して高い割合にあります。小規模校の少人数だからこそその結果ですが、授業の進め方や指導方法、児童に提示する教材・資料等、職員が日々工夫し手間をかけて準備をして授業づくりを行っていることの成果と考えます。今後も子供たちが満足感や達成感を味わい、学習を通して自分にどんな力が身に付いたのか分かるような授業づくりを行ってまいります。

㊧ 子供の意識と大人の目から見たあわれの差が大きいことに問題意識を感じます。特に設問12のICT活用は全国的に見ても浜松市が低かった項目です。有効に活用できる手立てや仕組みづくりが必要かと思ひます。また、設問13読書状況に関しては、家庭でも読書をする動機付けを、学校と家庭と協力して行う必要があると思ひます。前期のアンケートのまとめでもお伝えしましたが、活字を追う習慣は読む力を育むだけではなく、考える力や問題解決の力も高めていきます。子供たちの今後の人生にとって役立つことの多い大切な力となっていきます。

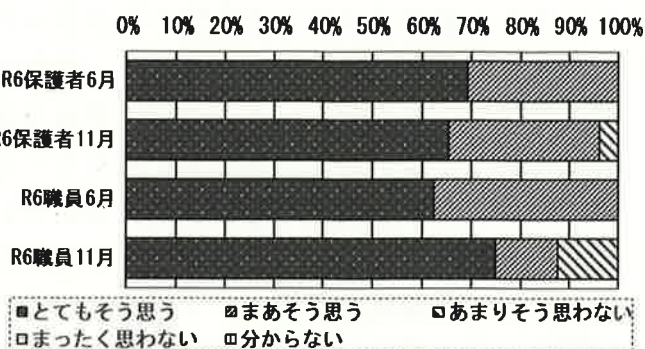
◆その他

★★★★★ 「その他」 アンケート結果 ★★★★★

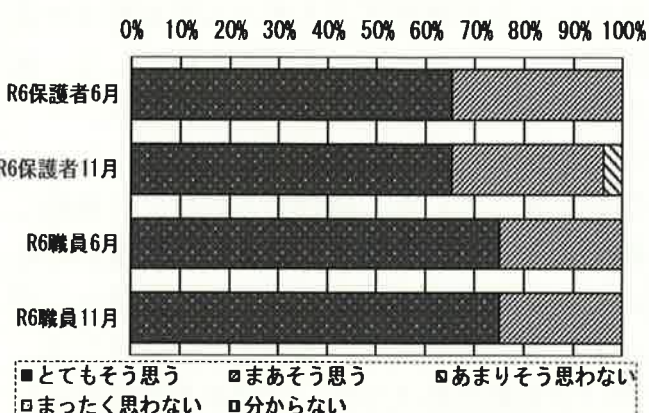
18 学校が楽しい



19 学校は、学級・学校だより、ホームページ、ブログ等で、情報や子供の様子を発信している。



20 学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している



【アンケートから】

㊦「18 学校が楽しい」の児童の肯定的回答が100%でした。また、「20 学校は家庭・地域と積極的に連携・協力している」については保護者、職員とも9割を超えました。

【考察】

㊦「学校が楽しい」への児童の肯定的回答が100%だったことを、職員一同、何よりもうれしく感じています。また、情報発信や家庭との連携についても、肯定的な回答を多数いただきました。今後も、学級だより、学校だより、学校ホームページ、ブログ等の様々な媒体を通して、学校や児童の様子が分かる情報を提供してまいります。

総括



今回のアンケート結果については、肯定的な意見が9割以上のものが減ったものの、8割未満のものも大幅に減り、全体としては良い方向に変化していると言えます。

前期のアンケートの結果でも、子供たちは充実した学校生活を送っていることが分かりましたが、今回はそれが更に高まっています。子供たちが日々笑顔で過ごす様子からもそうしたことがうかがえます。また、充実して過ごしているだけでなく、子供たちができるようになったことが増えたり、精神的にも大人びてきていたり、自立が進み、教師の助けを求めなくなってきたことに、大きく成長していることを感じます。うれしい限りです。

これは、学校だけの力ではなく、子供たちを見守り励ましてくださる保護者や地域の方々の支えがあつてのことだと言えます。本校の教育活動への御理解、御協力に感謝申し上げます。

今後も「全職員が全児童の担任」という意識のもと、子供たち一人一人を大切に支援してまいります。

なお、前回のアンケートでも課題となった「自分の思いを伝える」ことや「学校の様子を保護者に伝える」ことに関しましては、一定の進歩はあったものの、今回のアンケートでも引き続き課題であることが分かりましたので、今年度の残りの教育活動や、来年度に向けての話し合いの中で、改善できるように努めてまいります。

今後ともお力添えをよろしくお願いします。

(様式2)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

＜本年度の目標＞

- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深める。
- 学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動（家康プロジェクト）について保護者や地域がより支援していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

【しっかり熟議することができた】

- 今年度の重点（具体的な取り組み）について、丁寧な説明があり理解を深めることができた。付箋紙を使い、出席者全員で「犬居小学校の素晴らしいところ」「課題と思われるところ」を出し合ったことにより、共通認識をもつことができ、今後の方向性がより明確となった。
- 校長より「こんな子供に育てたい」五本の柱を主にした基本方針の説明を受けた。校長のビジョンは十分理解でき、委員も活発に協議することができた。
- 校長から学校運営の基本方針について説明があり、様々な視点から基本方針について充実した熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

【しっかり熟議することができた】

- 総合的な学習の授業参観をしたことで、子供たちが取り組もうとしていることがよく分かり（意欲も伝わり）、地域や保護者、委員ができる支援について熟議することができた。
- 学校が求めるソフト面での支援・ハード面での支援など、協議会として十分話し合うことができ、具体的な支援活動ができた。
- 活動内容と基本方針との関係が理解でき、学校からの要望について具体的な支援策を熟議することができた。
- 学校運営の基本方針について熟議したことにより、活動内容と基本方針との関係が理解でき、熟議を円滑に進めることができた。

